

G7 保健大臣会合について

1. 会議の概要

- G7 保健大臣会合は、サミットに合わせて開催される関係閣僚会合の一つで、G7（日本、アメリカ、イギリス、イタリア、カナダ、ドイツ、フランス）及び EU の保健担当大臣が一堂に会し、国際社会が直面する様々な保健課題について意見交換を行い、コンセンサスを形成します。
- G7/G8 の枠組みでは、2006 年のロシア、2015 年のドイツ、2016 年の日本（神戸）に続いて、4 回目の開催となります。
- 近年のエボラ出血熱や MERS（中東呼吸器症候群）のアウトブレイクからも分かるように、保健に関する課題は国内問題にとどまらない地球規模の課題であり、解決のためには世界的な連携の枠組みの構築が必要となっています。
G7 保健大臣会合は、G7 各国が協調して政策を進めるための重要な政策対話の場となっています。

2. 会期・場所

会期： 平成 29 年 11 月 5 日（日）～ 6 日（月）

場所： The National Museum of Science and Technology “Leonardo da Vinci”
（イタリア・ミラノ）

3. 主要議題

- 気候変動と環境の変化の健康への影響
- 女性と子供の健康
- AMR

4. 高木副大臣の主な予定

- 保健大臣会合への出席
- 各国の保健大臣等との個別会談